

## 伊豆ヶ岳 (正丸峠～伊豆ヶ岳周回) 山行報告

【日時】2018年1月24日(水) 晴

【山域】奥武蔵

【コース】正丸峠～伊豆ヶ岳周回

【参加者】CL 柘植、SL 澤田路、吉瀬、松本か、上荒磯、高地(記録)

【行程】(西武秩父線) 正丸駅 9:00⇒正丸峠 10:30⇒小高山 11:20

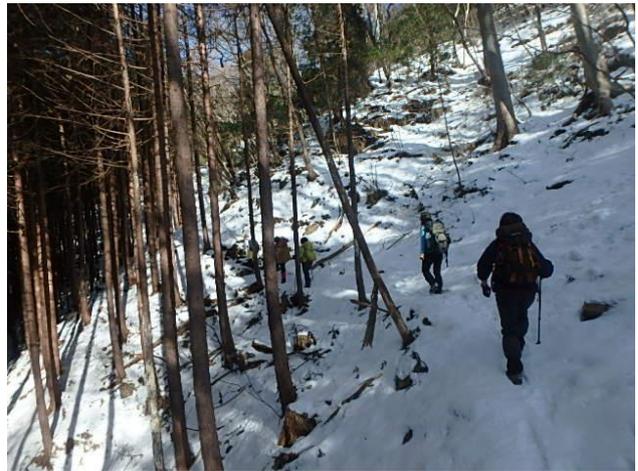
⇒五輪山 11:35⇒伊豆ヶ岳 12:00⇒正丸駅 14:15

【内容】

1月22日(月)首都圏では大雪が降り、山行がその翌々日であった為、積雪の影響を考慮してアプローチのよい伊豆ヶ岳に行くことになりました。正丸駅で降りたハイカーは他に誰も無かったです。



われわれしかない正丸駅から出発



杉林のなかの登山道

駅前のベンチでスパッツを着けて身支度をし、スタート。急な階段を下りてしばらく車道歩き、凍結注意で用心して歩きました。安産地藏尊や家並みも雪をかぶってひっそりしていました。20分ほどで登山口の馬頭観音で分岐になっていて、正丸峠方面に進みました。杉林の中をゆるやかに登っていくと石丸峠への表示があり、登りつめると一旦道路に出ます。普段はバイクや車が多いらしいのですが、この日は凍結していて車の通りはなく静か。視界が開けて、奥武蔵の山並み、青空、雪景色が素敵で気分爽快。正丸峠630Mからの眺望はよく、東京の高層ビル群やスカイツリーが見えました。



遠くにスカイツリーや新宿の高層ビル群



小高山の山頂

レストハウスの裏手から登山道に戻り、長岩峠を経て小高山720Mまで、尾根歩きは快適、ただ顔が痛いほど冷たい風が吹き付けてきて寒い。足元の雪はパウダースノー。急斜面になるとズルズルと滑ったりして登っていきました。五輪山の標識をチラ見して進めば、目の前に男坂が雪に覆われてそびえ立っていました。雪のついた鎖場は危険なので、右手の女坂に進みます。



自分たちのトレースをつけて進む



クサリ場の男坂は眺めるだけ

やがて女坂も正規ルートは崩れていて通行禁止、男女間の雪で覆われた道をCL先頭に進んで行き、伊豆ヶ岳山頂に到着。写真など撮ったりしていると、別ルートから登ってきた男性1名に遭遇。登山道の様子を聞くとともに集合写真のシャッターを押してもらいました。山頂は風も寒さもさほどでもなく、各自岩陰でガス使用して暖かい食べ物を準備し、また持参の暖かいものなどでランチタイム、一時間ほどゆっくりしました。下山は軽アイゼン装着し、サクサクと下り、途中から大蔵山コース方面へ降りる道に入り、順調に下り、車道に出てアイゼンをはずして、正丸駅に着きました。



伊豆ヶ岳の山頂



全員集合

当初の予定から雨が降って一週延期になり、雪が降ってスノーハイクとなり、電車での移動も行き帰り座ってのんびり、皆さんと山の話などできて楽しい一日でした。感謝です。

高地 郁美 (記録)